

令和2年度 (一社) 犬山祭保存会常任理事会・理事会 第5回 議事録

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 日時                                    | 令和2年12月12日(土) 19:00~21:00  |
| 場所                                    | IMASEN犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F   |
| 出席者<br>(敬称略)                          | <p>【常任理事】会長(石田)、副会長(小林)、会計(下山)、財務委員会委員長(今井)、祭礼準備委員長(水田)、伝統文化委員長(市橋)、伝統文化副委員長(長井)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田・陸浦)、企画広報委員長(松田)、企画広報委員長代行(斉木)、企画広報副委員長(西村・林・柴田)、からくり文化振興部長(加藤)</p> <p>【理事】枝町組理事(武藤)、魚屋町組理事(小川雅弘)、下本町組理事(柴田)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、本町組理事(兼松)、練野町組理事(長岡)、鍛冶屋町組理事(市橋義和)、名栗町組理事(森)、寺内町組理事(三輪)、余坂組理事(大澤憲司)、内田町組理事(伊藤一則)</p> <p>歴史まちづくり課課長(中村)、観光課課長(新原)、保存会事務員(竹村)</p> |
| 議事                                    | <p>I. 報告事項</p> <p>II. 議題</p> <p>①定款変更について ②令和3年犬山祭の開催について ③スケジュールについて④その他</p>  |
| 配布資料                                  | <p>1. 「令和2年度 第4回常任理事会・理事会」</p> <p>2. 一般社団法人犬山祭保存会 定款</p> <p>3. 犬山祭保存会会員募集のお願い</p>  |
| 議事内容                                  |  |
| I. 報告事項                               |  |
| 報告/検討内容                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長：連日コロナ禍のニュースが深刻さを増してきており、我々保存会としても真剣にこの状況に向き合っていく必要がある。<br/>またこういった状況だからこそ、普段できなかった定款についての議論等を進めていきたいので、真剣に議論をしていただきたい。</li> <li>・専務理事：先日、毎年行っている犬山北小学校の車山蔵見学では町内の方にご協力いただき、無事終了する事ができた。生徒からのお礼の文章もいただいているので各町内の方に見ていただきたい。</li> </ul>   |
| 決定事項                                  | —  |
| II. 議題 ①定款変更について (資料：一般社団法人犬山祭保存会 定款) |  |

報告／検討内容

○会員制について

- ・企画広報副委員長：保存会の定款変更について、会員の種類を正会員と会員の二種類に分ける提案について今回は審議していただきたい。  
犬山祭に参加するためには正会員または会員になる事を必要とするが、正会員は総会の議決権を有するのに対して、会員は議決権がない事が違いである。  
正会員は、この理事会に出席しているメンバー（役員と町内理事）となる。  
16町内に住所を有する者は町内単位での会費の支払い、町外からの参加者には一口年1000円の会費の支払いとなる。
- ・町外から来てもらうてこさんに会費を支払ってもらう事について、町内として徴収するのは賛成であるが、保存会として徴収する事にはやや抵抗がある。会費を集める目的も曖昧ではないか。
- ・特定の町内に属していないてこの新規参加に関して、各町内への割り振りが難しくなるのではないか。
- ・各町内によってどれだけの人材が必要かという事情も異なるので、保存会としててこを募集した上で、各町内に割り振る形が良いのでは。
- ・遠方から来てもらう人に負担を強いるのは心苦しい。会員募集自体はやるべきだが、これまでの方法を急に大きく変えるのは難しいのでは。出来る範囲から進めていくべき。（保存会のファンクラブを作る、クラウドファンディングで資金を募る等）
- ・町内の人手不足で、当番などの役割も町外に頼り切りになっているので、そういった中で外から来てくれる人に負担をしてもらいにくい所はある。  
また、従来の組織が既にしっかり出来上がっており、統制も取れている中で急に外部から新しいてこが参加する形になっても対応するのが難しいのではないかと思う。  
また、仲間としての絆は既に深い人たちがばかりなので、祭への一体感を高める、といった目的はあまりしっくりこないように思う。
- ・自町内では、参加するてこは身元保証人制度をとっており、町内在住の世帯主がてこの身元保証人になっているため、新たに外から来てもらうのは難しい所がある。
- ・専務理事：各町内にててこ等を無理に割り当てるわけではない。
- ・同じ会費を集める事でも、一度各会員が町内に会費を預けて、それを保存会に納める、という形なら納得がいくのではないかと思う。
- ・会長：今回の定款変更案の目的は、町内の経済基盤を取り上げて、保存会のものとするわけではない。社団法人化したことを念頭に置いて、意識改革をしなければならないのが目的である。従来の16町内の垣根を越えて、それ以外の人材に祭参加してもらい、10年・20年先の新しい時代を見据えて、保存会が永続的に活動していくことを狙いとしている。  
町内の理事さん達には、町内に保存会としての意向を説明する立場に立ってもらいたい。

- ・専務理事：これはこの話だけでなく、当番なども外部から手伝ってもらっている。警備費も市から拠出してもらっているが、この予算が今後も下りるかどうかは不透明である。雑踏警備をやりたいという人は町外でも多く、そういった人を取り込むという観点からも、この議論を深めていく必要性は高いと考える。
- ・事前に会費の用途を明示すべきではないか。現状で上手くいっている体制をあえて変える必要があるのか。
- ・専務理事：従来から会の収入・支出は税理士を通して、総会の承認をいただいている。用途は明白である。
- ・会長：町外からの会員を集めるのは、各町内の情報を元にして、てこ委員会や伝統文化委員が窓口となって公募する形となる。町内で募集すると、町内としての論理が優先されるため、保存会としての統一基準を作りたいという狙いもある。
- ・犬山祭に参加したい人の一般募集という形にすべきではないか。
- ・現在関わっている人は町外でも会費を払わなくてよいという形にして、新規参入する人のみ会費を徴収するのはどうか。  
会費を払ってもらう事で、逆に疎外されたような意識を持たせてしまうのではないか。
- ・町内的人是は全て正会員にして、町内単位として議決権を持つという形にしてはどうか。  
→企画広報副委員：正会員は全員平等でなければならないという原則があり、一人一票という形になるため、難しい。

|                        |      |
|------------------------|------|
| 決定事項                   | 継続審議 |
| II. 議題 ②令和3年犬山祭の開催について |      |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 報告／検討内容               | <p>○来年の祭礼について(各町内の現状・祭開催に伴うウイルス対策の報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長：来年度の祭開催について、資料に縮小実施案を掲載しているの<br/>で、こちらを叩き台にしつつ議論していただきたい。</li> <li>・現時点では開催は非常に困難であるという認識であり、縮小して行う、と<br/>いう前提でも議論が難しい。</li> <li>・参加者全員がPCR検査を徹底して受ける上でないと、祭を実行する側とし<br/>ての責任が取れないのではないか。</li> <li>・どういった準備を行えば対外的に行う立場を表明できるか、といった基準<br/>や指標が曖昧である。保存会でコロナ感染対策チームを作り、現状を調査<br/>する必要があるのではないか。</li> <li>・2年連続で中止となってしまうと、これまで培ってきた経験等が途絶えて<br/>元の形に戻るのが非常に困難になってしまう。なんとかしてやれる方法を<br/>模索する必要がある。</li> <li>・車山の運行も、各町内のみ範囲ではなく、出来れば隣町内くらいまでは<br/>動かしたい。</li> <li>・各車山のからくり奉納の時間帯を分散して、観光客の流れを集中させない<br/>ようにすれば良いのでは。</li> <li>・縮小する形でも、対外的に告知をしまえばどうしても観光客は集まっ<br/>てしまうので、その判断をどのようにするか考える必要がある。</li> <li>・からくり奉納は人が多く集まってしまうので止めた方が良い。自町内のみ<br/>で夜車山を動かすくらいの事は良いのでは。</li> <li>・祭開催の是非を判断する時期を明確に決めた上で案を出していくべきでは<br/>ないか。</li> <li>・祭を中止するのであれば、中止の決定はすぐに出来る事なので、現状では<br/>今回の縮小案を元を実施する事を検討していくのが良いのではないか。</li> <li>・現時点でも、町内によってコロナ対策の実状などが異なっている所もある<br/>ので、各町内の状況を踏まえた上での方向性を決めていく必要がある。</li> <li>・専務理事：あいち山車まつり日本一協議会の山車一輛につき10万円の補<br/>助金は、祭が中止となっても執行される。考慮すべきではないか。</li> </ul> |
| 決定事項                  | 継続審議   |
| II. 議題 ③今後のスケジュールについて |  |
| 報告／検討内容               | <p>○餅つき大会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画広報委員：例年行っている餅つき大会はコロナ禍に鑑み中止とし、<br/>餅の奉納のみ12月28日に行う。</li> </ul> <p>○新年会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年の新年会は中止とする。</li> </ul>  |
| 決定事項                  | 餅つき大会、新年会の中止（餅の奉納は行う）  |

懸案事項／その他補足

|  |
|--|
|  |
|--|

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 次回日時 | 令和3年1月23日                    |
| 次回場所 | IMASEN犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F |

|     |          |
|-----|----------|
| 記録日 | R2.12.12 |
| 記録者 | 竹村       |

署名 溝口正成

多和田兼道